

# 生理研研究会 プログラム

「構造情報を基盤とした膜機能分子の生理機能理解に向けて」

代表者：中條浩一（自治医大・医）、所内対応者：久保義弘（生理研）

日程： 2021年9月7日（火）

8：55～9：00 開会の挨拶

9：00～10：30

座長：中條 浩一（自治医科大学）

河合 喬文（大阪大学医学系研究科）

「精子イオンチャネルの動態を制御する様々なメカニズム」

Rizki Tsari Andriani（生理学研究所、大阪大学医学系研究科）

「Voltage-clamp fluorometry analysis of structural rearrangements of ATP-gated channel P2X2 upon hyperpolarization」

沼田 朋大（福岡大学医学部）

「細胞容積調節機構における TRPM7 の新たな役割」

10：50～12：20

座長：糟谷 豪（自治医科大学）

祢宜 淳太郎（九州大学理学研究院）

「植物のアニオンチャネルを介した CO<sub>2</sub> 感知メカニズム」

塚本 寿夫（神戸大学理学研究科）

「リサイクル型オプシンの光応答特性を利用した光操作ツールの開発」

藤原 祐一郎（香川大学医学部）

「グルコース輸送体 SGLT における糖の選択的輸送機構」

12：20～13：20 昼休み

13：20～14：50

座長：藤原 祐一郎（香川大学）

李 勇燦（横浜市立大学生命医科学研究科）

「クライオ電子顕微鏡により明らかとなったヘテロ二量体型アミノ酸輸送体の構造と分子病理」

木瀬 孔明（東京大学理学系研究科）

「Structural basis of gating modulation of the Kv4 macromolecular channel complex」

入江 克雅（和歌山県立医科大学薬学部）

「細菌由来のイオンチャンネルに見いだされたカルシウムの選択的透過と機能阻害」

15:10~16:40

座長：岩本 真幸（福井大学）

原 雄二（静岡県立大学薬学部）

「リン脂質フリップ・フロップにより制御されるイオンチャンネルの役割」

阿部 充宏（理化学研究所）

「PMP2/FABP8 induces PI(4,5)P2-dependent transbilayer reorganization of sphingomyelin in the plasma membrane」

阿部 一啓（名古屋大学細胞生理学研究センター）

「細胞膜リン脂質フリッパーゼ ATP11C による脂質輸送メカニズム」

17:00~18:00

座長：下村 拓史（生理学研究所）

井上 華（東京医科大学医学部）

「ドメイン間相互作用を介した酸化ストレスによる TRPM7 チャンネル活性の調節機構」

大澤 匡範（慶應義塾大学薬学部）

「Gating-modifier toxin APETx1 による電位依存性 K<sup>+</sup>チャンネル hERG 阻害機構の解析」

18:00~18:50

座長：大澤 匡範（慶應義塾大学）

老木 成稔（福井大学医学部）

「チャンネル構造-機能情報の乖離と適合」

18:50~19:00 閉会の挨拶